

【情報公開】

小地域別がん罹患のベイズ推定および小地域別がん罹患地図の作成

初版 2019年9月25日

改訂第2版 2019年11月20日

改訂第3版 2021年3月26日

改訂第4版：2022年11月29日

- 1.研究の対象

2016-2018年にごんと診断され、全国がん登録に登録された全がん患者データが対象です。
- 2.研究目的

がんにかかる（罹患）リスク因子や予防因子の保有状況は都道府県や二次医療圏、市区町村で異なります。また、がん検診の実施状況は市区町村によって異なり、がん診断時の進行度に影響を与えます。そのため、がん罹患数・率や診断時の進行度分布は都道府県、市区町村、二次医療圏別に集計する必要があります。本研究では、都道府県、市区町村、二次医療圏別にがんの罹患数・率を明らかにし、疾病地図としてわかりやすく表示することを目的とします。
- 3.研究方法

市区町村のような人口規模の小さな単位での集計は、結果の安定性や個人の特定に不安があります。そこで、本研究では経験ベイズ法を用いて性、部位、組織型別に罹患数・率や診断時の進行度分布を推計します。経験ベイズ法では隣接地域の情報を統合して推計するため、結果の安定性が確保され、さらに個人が特定される可能性も小さくなります。（研究実施期間：～2026年12月31日）
- 4.研究に用いる
試料・情報の種類

「匿名化が行われた全国がん登録情報」を利用します。利用する項目には性別、診断時年齢、診断時の患者住所の都道府県・二次医療圏・市区町村や、ごんと診断された年、がんの部位・組織型や進行度に関する項目が含まれます。直接的に特定の個人を識別できる項目や、他の情報と容易に照合し、それにより特定の個人を識別する項目は含まれません。
- 5.外部への資料・
情報の提供

外部への資料・情報の提供は行いません。当センター外の研究者も、当センター内においてのみ集計・分析を行います。
- 6.情報の公開

結果は都道府県別では実測値とベイズ推定値を公表し、二次医療圏・市区町村別ではベイズ推定値のみとし、実測値は公表しません。ただし、ベイズ推定値でも、結果が不安定となる場合は、その結果は公表しません。
研究の成果は、関連学会、学術集会、国立がん研究センターのウェブサイトでご発表します。

【情報公開】

7.研究組織

【研究責任者・研究代表者】

片野田 耕太：国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計・総合解析研究部 部長

【研究参加者】

堀 芽久美：静岡県立大学看護学部 准教授、国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計・総合解析研究部 外来研究員

齋藤 英子：国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計・総合解析研究部 研究員

伊藤 ゆり：大阪医科大学研究支援センター医療統計室 室長

中谷 友樹：東北大学大学院環境科学研究科都市環境・環境地理学講座 教授

田中 宏和：国立がん研究センターがん対策研究所予防検診政策研究部 研究員

片山 佳代子：群馬大学情報学部 准教授

7.問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究責任者・研究代表者：

国立がん研究センターがん対策情報センター

がん統計・総合解析研究部 片野田 耕太

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3547-2511